

“放送 1世紀”に向けて

～プラットフォームとしての「テレビ」と「放送」～

The Prospects of Broadcasting

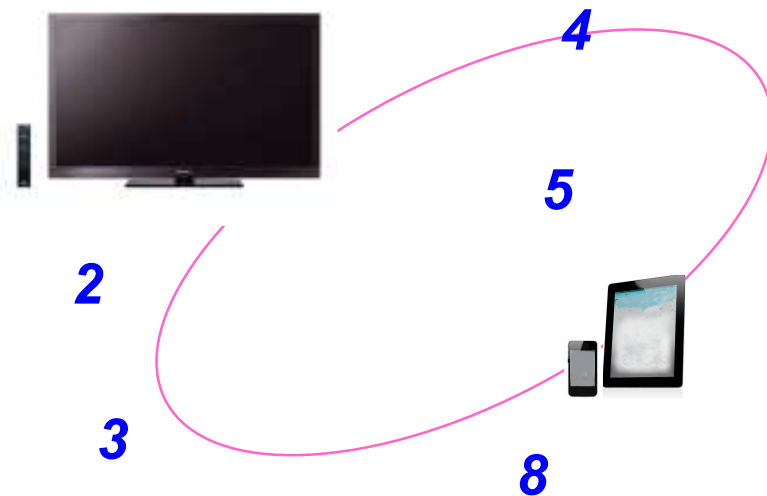
2020

2013年9月30日

次世代放送推進フォーラム
元橋圭哉

2

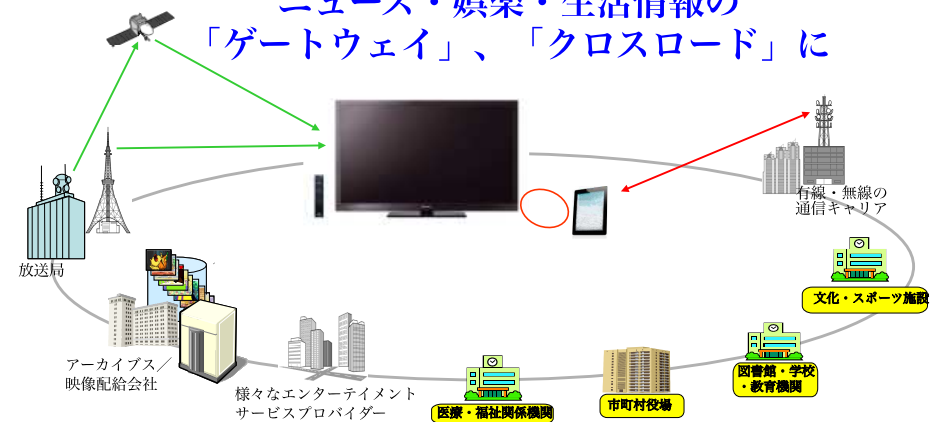
“放送”サービスのこれから



3

テレビとタブレット、スマートフォン

ニュース・娯楽・生活情報の
「ゲートウェイ」、「クロスロード」に



4

2011.3.11

テレビ

2011.7.24

6

2015

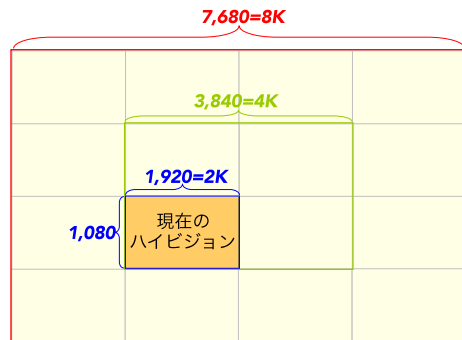
2014年

2016年

2020年

ネットサービス普及 20年
放送開始 90年
BSデジタル放送 15年

4K/8KTV



画素数（解像度）だけでなく、色域、階調、ダイナミックレンジ、コントラストなどが飛躍的に高まることに、期待が高まる

9

HTML5

the Hypertext Markup Language, 5th major revision



新しい
取材・制作ツール
演出・表現手法
伝送・提供手段

放送局のサービス高度化、高品質化に
願ってもないチャンス

10

500年単位の変革

高画質か？高機能か？

HEVC

High Efficiency Video Coding

デジタルになって、
変わる**こと**、**変えるべきこと**は何か？

MMT

MPEG Multimedia Transport

デジタルになっても、
変わらない**こと**、**変えてはいけないこと**は何か？

13

ジャーナリズムとクリエイティブ

課題

- 4K/8KTVの制作ノウハウの構築、早期のサービス展開
- ノンリニア型（HTML5）コンテンツや番組連動アプリの制作ノウハウ、サードパーティとの戦略的連携
 - 世界の超高画質コンテンツ市場 & スマートテレビサービス市場の先駆者に
- デジタルの恩恵をいち早く視聴者に還元
 - “TV Everywhere”の実現
 - 技術的優位性を基軸に、サービス・文化・産業面でも、世界の中のプレゼンス強化を
 - 技術進化に即応できる法規制、業界慣習、ワークフロー
- （拡大）再生産が可能なコンテンツ流通モデル、ビジネスモデルの創成
 - 縦割りから横串へ
 - コンテンツ展開のグランドデザイン、ウィンドウ・コントロール
- まだ見通せない、本当の“ロードマップ”

15